

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 7 月 20 日 (2017.7.20)

【公開番号】特開 2017-29731 (P2017-29731A)

【公開日】平成 29 年 2 月 9 日 (2017.2.9)

【年通号数】公開・登録公報 2017-006

【出願番号】特願 2016-151985 (P2016-151985)

【国際特許分類】

A 6 3 F 13/80 (2014.01)

A 6 3 F 13/812 (2014.01)

A 6 3 F 13/53 (2014.01)

A 6 3 F 13/30 (2014.01)

A 6 3 F 13/58 (2014.01)

【 F I 】

A 6 3 F 13/80 B

A 6 3 F 13/812 B

A 6 3 F 13/53

A 6 3 F 13/30

A 6 3 F 13/58

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 12 日 (2017.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 6 】

ゲーミングアプリケーション 1 5 0 (さらにアプリケーション 1 5 0 としても参照される) は、ユーザ装置 (例えば、クライアント 1 1 5)、例えば、スマートフォン又はタブレットデバイスなどにおいて、ローカルに実行されることができる。別法として、アプリケーション 1 5 0 は、ネットワークを通じて、ユーザ装置によってアクセスされることができる。ゆえに、アプリケーション 1 5 0 は、サーバ上で実行され、ブラウザアプリケーションを用いてユーザ装置によってアクセスされることができる。サーバは、アプリケーション 1 5 0 の G U I を、標準又はモバイルのウェブサイトのウェブページとして供給することになる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 6 5 】

図 1 3 は、本システム及び方法の実施形態を実装することに使用され得る一例示的なコンピューティング装置 1 (さらにシステム 1 及びコンピュータシステム 1 としても参照される) を例示している。図 1 3 のシステム 1 は、コンピューティング装置、ネットワーク、サーバ、又はこれらの組み合わせなどの文脈において実装され得る。図 1 3 のコンピューティング装置 1 は、1 つ以上のプロセッサ 1 0 とメモリ 2 0 とを含む。メモリ 2 0 は、部分的に、プロセッサ 1 0 による実行のための命令及びデータを記憶する。メモリ 2 0 は、動作しているとき、実行可能コードを記憶し得る。図 1 3 のシステム 1 は、大容量記憶

装置 3 0、ポータブル記憶装置 4 0、出力装置 5 0、ユーザ入力装置 6 0、表示システム 7 0、及び( 1 つ以上の ) 周辺装置 8 0 をさらに含む。

【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 6 7

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 6 7 】

大容量記憶装置 3 0 は、磁気ディスクドライブ又は光学ディスクドライブと共に実装されることがあり、プロセッサ 1 0 による使用のためのデータ及び命令を記憶する不揮発記憶装置である。大容量記憶装置 3 0 は、本テクノロジーの実施形態を実装するシステムソフトウェアを、そのソフトウェアをメモリ 2 0 にロードする目的で、記憶し得る。